今月の読み物

八代目尾上菊五郎＆六代目尾上菊之助の襲名披露お練り

神田祭

３月31日、当組合理事の(株)長谷川萬治商店長谷川泰治社長が帯同するのを聞きつけ、神田明神に主題のお練りを取材に行きました。

当日は３月末とは思えないような寒空、12時から開始ということで11時15分に現地入り。すると参道にはすでに人垣が五重にできており、私はその後ろ、つまり６列目に並びました。待っている間に小雨がぱらついたりしましたが、年配のご婦人が中心の皆さん方、誰一人として倒れることなくたまげました。終演は２時を予定しているとのアナウンスが流れます。

お練りは10分程遅れてスタート。本殿に近い場所を確保したため、さらに10分ほど遅れて到着。木遣りを先頭に、神輿、新橋芸者衆が通り過ぎたようです。正直よく見えず、周囲の方々も菊之助さんはもう通りすぎたのかさえわからない有様。

すると鳥居の方角から太鼓が鳴り響きラップが聞こえて、主役の芸歴などを紹介。Zeebra さんという方のラップだそうです。そこでまだ通過して

Zeebra さん

八代目尾上菊五郎＆六代目尾上菊之助

いなかったことを知りました。そしてついに目の前をご両人が通過しましたが、正直よく見えません。カメラを頭上に掲げ、バシャバシャ撮っただけ。長谷川さんがカメラのモニターに映ったのですが後で確認してみると撮れていませんでした。

今までは右手に見える鳥居の方角を見ていましたが、今度は左手のお社が舞台。参道には報道各社がカメラを並べていて、お練りの際は邪魔にはならなかったものの、お社でのお二人の口上は、このカメラが邪魔で舞台正面がふさがれまったく見えません。

こりゃ家に帰ってハッシュタグ＃で映像を探したりニュースを見た方がいいかも。寒さと雨もあり、これにて退場しましたが、ニュースで最後は奉納舞踊「七福神」を舞い無事終演したことを知りました。夕方見たYoutubeには長谷川さんもしっかりと映っておりました。

しかしながらファンの熱気、雰囲気といったものは現場に居合わせなければ伝わってこないものがあり、貴重な体験をさせていただきました。

音羽屋一門と帯同される長谷川泰治社長